

日本社会福祉系学会連合ニュース（2016年10月号）

ご挨拶

日本社会福祉系学会連合会長 黒木保博

今年の夏は度重なる台風来襲による大雨、浸水、土砂崩れなど自然被害が各地で起こりました。過去には台風被害が少なかった北海道でも甚大な爪痕を残し、いまなお農作物高騰などの影響が出ています。岩手県岩泉町では高齢者施設に土砂が流入し、9人の尊い命が奪われ、日本中が悲しみに包まれました。

連合は20の社会福祉系学協会で組織化されています。主な活動として日本学術会議社会学委員会社会福祉学分科会への協力、社会福祉系学会の交流と連携等です。交流や連携の具体的活動としてのシンポジウムや研究会では、各学協会に共通するテーマを掲げてきています。

東日本大震災以降、災害福祉に関するシンポジウムと研究を共通課題とし、継続してきました。2014年度は「災害福祉学の構築に向けて—社会的孤立の防止と自立支援」、2015年度は「災害福祉学の構築に向けて—支援者支援を考える—」で開催しました。

今年度についても、これまでの研究成果を踏まえての公開研究会テーマを検討しました。そろそろ災害福祉から別のテーマを検討してはどうかと意見もありました。しかし、4月には熊本県熊本地方を震央とする地震が発生したことから、さらに災害福祉研究を深めるべく、「災害福祉研究—災害予防、対応時における多職種連携のあり方」をテーマとする公開講演会を開催することになりました。災害予防、対応活動時に、福祉関係者が医療スタッフ、行政担当者、ボランティアなど他職種とのどのような連携をしながら活動をしていくべきか、そのあり方について、発表とディスカッションで深めていきたいと考えています。

また災害福祉に関するアーカイブの充実に取り組んでいます。災害福祉に関する文献刊行の際にはぜひ事務局にお知らせ下さい。ホームページで公開しております。各学協会の活動について、とりわけ各学協会の年次大会、研究科等の日時を早期にお知らせいただくことで、会員の研究活動に寄与したいと思っております。学協会の活動が社会福祉系研究の意義と魅力に相乗効果をもたらすような役割を果たしたいと考えております。各学協会の多くの会員の皆様にぜひ連合活動について紹介と参加をしていただくためにも、この連合ニュースをご活用下さい。

2015年度 日本社会福祉系学会連合 事業報告

1 会員等の活動に関する情報交換

(1) HPのリニューアルおよび広報活動

HPにおいて加盟学会の大会等に関する情報を掲載（月2回更新）したほか、震災関連のシンポジウム等の最新情報や災害福祉アーカイブを適時、掲載・更新した。

(2) 日本社会福祉系学会連合ニュース（電子版）の刊行

「社会福祉系学会連合ニュース」の2015年7月号および2016年1月号を刊行し、本連合HP上で公開したほか、加盟学会等に配信した。ニュースでは、加盟学会の大会等に関する情報や日本学術会議社会福祉学関連分科会の動向等を掲載した。

2 シンポジウム等の開催

災害福祉学の構築にむけて、「災害福祉学の構築—支援者支援を考える—」をテーマに下記のとおり公開研究会を開催し、その内容をとりまとめHP上で公開した。

(http://jaswas.wdc-jp.com/pdf/H27_report_01.pdf)

テーマ : 「災害福祉学の構築—支援者支援を考える—」

開催日時 : 2015年10月17日(土) 13時~16時

開催場所 : 東洋大学白山キャンパス 2号館3階第一会議室

司会 : 大島隆代(浦和大学・本連合運営委員)

発題者 : 藤岡孝志(日本社会事業大学)

鈴木幸一(公益財団法人ときわ会常盤病院)

梅崎 薫(埼玉県立大学・本連合運営委員)

3 日本学術会議の活動に対する支援と協力

日本学術会議社会学委員会社会福祉学関連分科会の活動支援の一環として、社会福祉学の参照基準検討分科会報告書『大学教育における社会福祉学分野の質保証—学士課程教育における社会福祉学分野の参照基準について—』を印刷製本し、加盟学会をはじめ社会福祉系大学および関連教育団体等に配布した。

4 日本社会福祉学会会長からの依頼対応について

日本社会福祉学会 岩田正美会長からの依頼により、加盟学会会長宛てに社会福祉系学会会長共同声明「戦後70年目の8月15日によせて」への賛同の呼びかけを行った。

5 東日本大震災への対応について

上記2のとおり、災害福祉学の構築にむけた公開研究会を開催した。また社会福祉学領域における震災関連の研究論文や報告書などを収集し、学会連合HP内にある災害福祉アーカイブの構築を継続して行った。(http://jaswas.wdc-jp.com/saigai_archive/index.html)。

6 運営委員会の開催

日本社会福祉系学会連合の運営をスムーズに行うため、運営委員会(5月11日及び3月31日、なお10月17日は公開研究会)を開催した。運営委員会委員は以下のとおりである。

| | |
|----------|---------------------|
| 会長 | 副田あけみ(日本社会福祉学会) |
| 事務局長 | 和気純子(日本社会福祉学会) |
| 庶務担当委員 | 梅崎薫(日本社会福祉学会) |
| 会計担当委員 | 秋山智久(日本キリスト教社会福祉学会) |
| 学術会議担当委員 | 金子光一(社会事業史学会) |
| 震災対応委員 | 倉田康路(日本看護福祉学会) |
| 同上 | 大島隆代(日本地域福祉学会) |
| 広報担当委員 | 小櫃俊介(日本社会福祉学会) |
| 監事 | 保正友子(日本社会福祉教育学会) |

7 総会開催

2015 年度総会を 2015 年 5 月 31 日に法政大学市ヶ谷キャンパスにて開催した。

2016 年度 日本社会福祉系学会連合 事業計画

1 運営委員会の開催

学会連合の事業を円滑に遂行するために、運営委員会を年 3 回程度開催する。2016 年度の学会連合運営委員は下記の 9 名で担当する。

| | |
|--------|--------------------------|
| 会長 | 黒木保博（日本社会福祉学会） |
| 事務局長 | 金子光一（日本社会福祉学会） |
| 研究担当委員 | 小林良子（日本司法福祉学会） |
| 同上 | 高野和良（日本社会分析学会） |
| 同上 | 志賀利一（日本職業リハビリテーション学会） |
| 広報担当委員 | 小櫃俊介（日本社会福祉学会） |
| 会計担当委員 | 李 恩心（日本地域福祉学会） |
| 庶務担当委員 | 後藤広史（日本社会福祉学会） |
| 監事 | 田中英樹（日本精神障害者リハビリテーション学会） |

2 総会開催

2016 年度総会は、2016 年 5 月 29 日（日）に開催する。

開催日時：2016 年 5 月 29 日（日） 17 時 10 分～17 時 50 分

開催場所：立教大学池袋キャンパス 12 号館第 3・4 会議室（地下）

3 会員等の活動に関する情報共有

1) HP の充実

リニューアルした HP を活用し、更なる会員との情報共有に努める。加盟学会の大会等に関する情報を掲載（月 2 回更新）するとともに、本連合および日本学術会議等の最新情報を適時、掲載する。

2) 電子版ニュースレターの発行

学会連合の活動内容を広く会員に周知するため、年 2 回、電子版ニュースレターを発行する（7 月、1 月予定）。

3) HP における災害福祉アーカイブの作成（継続）

2013 年より「災害福祉アーカイブ」を連合 HP 内に設け、震災関連の研究論文、報告書などを収集している。今年度も引き続き情報の収集、掲載の工夫を行うとともに、加盟学会および学会員に一層の協力を求め、収集・活用方法についても検討する。

4 シンポジウム等の開催

以下の通りシンポジウムを開催する

テーマ：「災害福祉研究—災害予防、対応時における多職種連携のあり方—」

開催日時 2016年12月17日（土）13：00～16：30

開催場所 日本大学文理学部キャンパス3号館3階3301教室

会場アクセス <https://www.chs.nihon-u.ac.jp/access/>（日本大学文理学部HP）

発題者

笹岡 眞弓氏（文京学院大学・教授）

小早川義貴氏（国立病院機構災害医療センター・福島復興支援室）

奥田 博子氏（国立保健医療科学院・保健師）

菅原由紀枝氏（高寿園・管理栄養士）

司会進行：小林良子氏（日本司法福祉学会）

* 入場無料

* お申し込み 日本社会福祉系学会連合事務局 union-jssw@kokusaibunken.jp（12月15日締め切り）

5 日本学術会議の活動に対する支援

日本学術会議社会学委員会社会福祉学関連分科会である「社会学委員会社会福祉学分科会」による研究活動を支援する。

日本社会福祉系学会連合事務局

日本社会福祉学会事務局内

〒162-0801

東京都新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター

TEL: 03 (5937) 0047 FAX: 03 (3368) 2822

Mai: union-jssw@kokusaibunken.jp

<http://jaswas.wdc-jp.com>

加盟学会一覧

社会事業史学会 日本医療社会福祉学会 日本介護福祉学会 日本家族研究・家族療法学会
日本看護福祉学会 日本キリスト教社会福祉学会 日本子ども家庭福祉学会 日本在宅ケア学会
日本社会福祉学会 日本社会福祉教育学会 日本ソーシャルワーク学会 日本社会分析学会
日本職業リハビリテーション学会 日本地域福祉学会 日本福祉教育・ボランティア学習学会
日本福祉文化学会 日本仏教社会福祉学会 日本保健福祉学会 日本司法福祉学会
日本精神障害者リハビリテーション学会

日本社会福祉系学会連合

◆◆◆公開研究会のご案内◆◆◆

災害福祉研究 —災害予防、対応時における多職種連携のあり方—

2016年4月14日の熊本県熊本地方を震央とする地震により、多くの尊い人命が失われ、今なお生活を再建できない人たちがいます。日本はこれまで大きな災害が起こると、数多くの福祉関係者が、医療スタッフ、行政担当者、ボランティアなど他職種と連携し活動を続けてきました。そして今回の熊本地震でもその重要性が改めて認識されました。そこで日本社会福祉系学会連合は、「災害福祉研究—災害予防、対応時における多職種連携のあり方—」をテーマとする公開研究会を開催いたします。皆さま奮ってご参加ください。

開催日時：2016年12月17日（土） 13:00～16:30

開催場所：日本大学文理学部キャンパス 3号館 3階 3301 教室

* 発題者:

笹岡真弓氏(文京学院大学・教授)

小早川義貴氏(国立病院機構災害医療センター・福島復興支援室)

奥田博子氏(国立保健医療科学院・保健師)

菅原由紀枝氏(高寿園・管理栄養士)

* 司会：小林良子氏(日本司法福祉学会)

* 入場無料

* お申し込み 日本社会福祉系学会連合事務局

union-jssw@kokusaibunken.jp (12月15日締め切り)

